

大型バスで群馬から応援

東京都議選での日本共産党の勝利で参院選での躍進につなげようと、全国の党組織が都議選応援に力を尽くしています。

25日、群馬県の東毛地区委員会は大規模バスで東京都文京区へ向かい、都議選に向けた活動を支援しました。石原まりこみどり市議、水野正己太田市議、篠木（しのぎ）正明地区委員長（館林市議）が参加しました。バスは午前6時50分に桐生市を出発。東毛、伊勢崎、前橋の各地区の参加者を乗せながら文京区へ向かいま



住民と対話する石原みどり市議
（中央）＝25日、東京都文京区

都議選勝利へ全国から飛躍つくろう

「文京区は定数2で、大激戦となっています。毎回、僅差で勝敗が分かれる選挙区です。わたしたちの支援で、福手ゆう子都議の再選を勝ち取りましょう」。車内で篠木氏が訴えました。

初マイク宣伝

10時前にバスは文京区へ到着。参加者は五つの班に分かれてそれぞれの事務所に入り、その日の行動を支部の党員たちと話し合いました。

石原市議と水野市議の第5班は、午前中は500万要求対話を行うことに。現地の党員の説明を受け、さらに三つのグループに分かれて、地図を手に担当地域

へ向かいました。比較的新しい住宅の多い地域を、石原氏たちは順番に「軒並み訪問」。

インターホン越しに「日本共産党区議会議員のいたくら美千代事務所から、アングレートに協力していただきたく参りました」と伝えると、手が離せないのでポ

元気もらった

午後4時すぎには参加者は帰りのバスに乗り込み、道中で感想交流も行いました。

「路地裏で宣伝をしましたが、群馬と違い、歩いてる人がいてやりがいがありました。また来たいと思います」などの積極的な意見がだされました。

個人で電車や車で東京に向かうのは限界があるの、バスを出すことにした、と篠木氏。

「都議選支援の経験は、群馬での参院選の取り組みを促進させる力にもなります。かえってこちらが文京

地区から元気をもらった思いです」

（渡部雅士）



参加者を乗せた大型バス
25日、群馬県太田市

この日は要求対話の他に、ハンドマイク宣伝も行われました。初めてハンドマイク宣伝に取り組む人もいて、「おもしろい経験になった」と話します。

「消費税の減税と財源について訴えると、『都議選